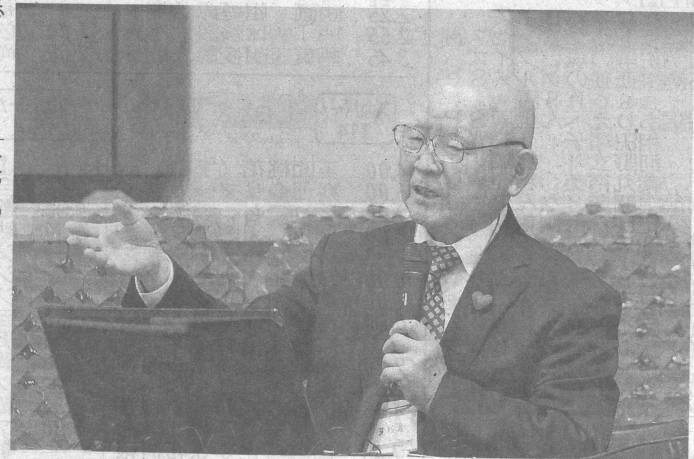


命の大切さ 中学生に

事故で次女犠牲 江角さん講演



命の大切さを語る江角さん(松江市で)

鳥取県智頭町で1999年、飲酒運転の車両が絡む事故に巻き込まれ次女(当時20歳)を亡くした江角弘道さん(79)(出雲市)が5月28日、松江市立第一中学校で、命の大切さについて講演した。

講演は、県警などが企画した。江角さんの次女・真理子さんは友人と軽乗用車に乗り、25年前の12月26日未明、智頭町の国道53号で中央線をはみ出して来た飲酒運転の乗用車と正面衝突し、亡くなった。

県立大短期大学部名誉教授で、住職でもある江角さんは「まさか自分の娘の葬式をするとは思わなかつ

た。つらいことでした」と当時を振り返り、最後に「自分の命をたどって10代前の先祖に遡ると、1024人の命に支えられていることになる。人の命も自分の命も全て尊い」と語りかけた。

講演を聴いた中学3年生の畑菜奈美さん(14)は「今まで交通事故を身近に感じたことがなかった。飲酒運転が少なくなれば、幸せになる人が増えると思った」と話していた。

◆読売新聞オンライン



読者会員登録で大阪本社版朝刊の各地域版がカラーでご覧いただけます